



学校だより

かけ橋

パート 2

横須賀市立汐入小学校 校長室

2012. 7. 11

No. 7

元気でやりぬく子  
すすんで学ぶ子  
思いやりのある子

## 環境整備

本校は、廊下や教室など、築年数は経っていますが、「学校全体が、きれいですね。」と来校された方々にお褒めの言葉をいただきます。汐入小の子どもたちが、とてもよく掃除をしているからかもしれません。

子どもだけではなく、用務員さんもとてもよく掃除をしています。玄関のモップかけと玄関前のスロープの落ち葉掃きは、毎日のようにやっています。

そういった日々の積み重ねが、きれいな学校を維持できているのだと思います。ただ、廊下の壁は、ペンキがはがれたり、まだらになっていたりする部分があり、気になっていました。用務員さんが、気づいてくれて、1階部分の廊下からペンキの塗り替えをしています。

まず、ペンキが飛び散っても大丈夫なように養生をして、次にペンキがはがれにくくなる薬品をぬり、それがある程度乾いてからペンキを塗ります。長い廊下を一人で作業しています。

大人が、一生懸命に作業して、汗を流している姿に気づく子もいます。そんな用務員さんの姿から学べる子どもになってほしいものです。

来校された際は、塗り替えた廊下の壁をぜひご覧ください。



## 図書ボランティア



7月3日(火)の昼休み、図書室でボランティアのお母さん方による読み聞かせが行われました。先生方の呼びかけの成果か、大勢の子どもたちが図書室に集まりました。椅子の数が足りなくて、立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。

夏の星座の話、天井に誰かいるのではという怪談風の話等、子どもたちの興味関心に合わせて、本選びをしてくださっていました。お話が佳境に入った時、突然のハプニング。みんな、びっくりしましたが、それもお母さんたちの演出でした。

私が感心したのは、図書ボランティアの方の中に、小さい子どもを連れしたり、赤ちゃんを背負ったりしながら読み聞かせをしてくださった方がいらしたことです。大変な状況を抱えながらも、汐入の子どもたちと関わろうとしてくださることに頭がさがります。

図書室前には、掲示物も飾られています。梅雨時には、様々な雨の呼び名を、七夕の季節には、織り姫と彦星をつなぐ☆の掲示を…。季節にあった掲示物があり、図書室に来るのが楽しくなります。



# 地域の支え

6月29日(金)地域の方からお電話がありました。  
「例年のように七夕に使う笹を届けてあげるけど、これから行って大丈夫ですか？」

本校では、毎年、地域の方が、立派な笹を届けてくださいます。

しばらくして、6本の立派な笹が届きました。さっそく各クラスで、短冊に願い事を書いて飾っていました。

ひとつひとつに、子どもたちの素直な気持ちが表現されています。いくつかご紹介します。



- がっこうのせいとぜいいんと、ともだちになれますように
- おかねもちになって、お母さんとお父さんに、お家を買ってあげられますように
- 弁護士になっていろいろな人をたすけたい。
- I want to be happy.                      しあわせになりたいです。



7月4日の朝、近所の方に声をかけられました。  
「鈴虫を飼っていて、たくさん孵ったので、ご迷惑でなければ、学校でもらっていただけませんか？」

先生方に希望を聞いてみると、何クラスかで飼いたいということだったので、その方のお宅に伺いました。すでに、飼育ケースに入れて、準備していただいていたのでありました。その方の話によれば、ナスの餌を毎日欠かさず与えていけば、8月上旬には、涼やかな虫の音が聞けるということです。

希望のクラスに分けても、まだ、100匹以上います。地域や保護者の方で、飼ってみたい方は、学校にご連絡ください。

これから、夏休みに入ると、子どもたちは、様々なおかしな人に出会うかもしれません。そのときは、すぐに、警察にご連絡ください。その後、学校にもご連絡いただけるとありがたいです。

警察の方の話によれば、そういった事件が起きたときは、一刻も早く配備して、おかしな人を確認する必要があるのだそうです。学校を通すと、その分遅くなってしまうので、すぐに警察(822-0110)に電話をして欲しいということでした。

学校にも、不定期ですが、パトロールしてくれているようで、時々右のようなカードがポストに入っています。(「午前1時10分ごろパトロールしました」と書かれていて、本町交番の方の署名があります。)

警察の方も、地域の安全安心のために日夜働いてくださっているのだと、実感できます。



このように、学校生活は、様々な人たちに支えられていると改めて強く感じています。